

## 「平成 26 年度認知症専門職研修上級コース」実施要項

### 1 趣 旨

この要項は、平成 24・25 年度に千葉県からの委託事業により作成した専門職研修プログラムの実施について、一般社団法人千葉県作業療法士会（以下「作業療法士会」という）が認知症専門職研修実行委員会（以下「実行委員会」という）を設置し、研修事業を実施するための事項を定める。また、実行委員会の委員については、一般社団法人千葉県理学療法士会並びに一般社団法人千葉県言語聴覚士会からの協力も得て構成する。

### 2 ねらい

本研修はリハビリテーションを担う作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の三職種に対し、認知症に対する実践研修を実施することで、認知症リハビリテーションの理解並びに技術の向上を図る。

また、認知症を呈する県民ができる限り自分らしい生活を継続できるようにリハビリテーションの立場から適切な支援やサポートができることとし、各地域において認知症のリハビリテーションリーダーとして対応できる基礎知識を習得する。

### 3 研修到達目標

- a 認知症リハビリテーションの基本的知識及び技術を理解し、認知症の人や家族に説明することができる。
- b 認知症の人や家族が自分らしい生活を構築できるように、リハビリテーションの立場から適切な支援できる。
- c リハビリテーション専門職として、また、地域におけるリーダーとして臨床現場において適切な対応や助言ができる。

### 4 対象者

- a 平成 25 年度認知症専門職研修（モデル事業）の初級・中級コースを修了した者とする。
- b 作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の免許を有し、認知症経験 5 年以上の者とする。

### 5 研修内容

- a 上級コース（指導者対象）；「実践研修」

4 日間＋施設見学実習半日間＋報告会半日間

科目；地域リーダー（コーディネーター）概論、多職種並びに地域との連携、連携の技術、地域住民への啓発、事例検討、終末期の支援、スーパービジョン、施設見学実習、見学実習報告会

## 6 研修受講後の任用

- a 一般社団法人千葉県作業療法士会管理のもと名簿登録を行い県内各地域の認知症対策において認知症リハビリテーションの相談窓口としての役割を担うこととする。
- b 平成 27 年度以降の研修会実施にあたり講師あるいはアドバイザーとしての役割を担うこととする。
- c 定期的に症例報告会などを開催し相談体制及び連携体制を整えるための役割を担うこととする。

## 7 研修事業評価

研修事業評価については、PDCA サイクルに基づき、受講生並びに講師の協力のもとアンケート評価を実施する。

各コースの評価項目については、以下のとおりとする。

### a プログラムについて

- ・構成、内容、講義形式、講義方法、時間配分
- ・妥当性、有効性、満足度、習熟度
- ・追加すべき内容等；自由記載

### b 参加しやすさについて

- ・日程、時間帯、場所

### c その他

- ・自由記載

## 8 その他

この要項に定めるもののほか、平成 26 年度認知症専門職研修の実施に必要な事項は実行委員会で協議し作業療法士会理事会で承認を得た上でこれを定める。

## 附 則

この要項は、平成 26 年 8 月 1 日から施行する。

平成 26 年 8 月 15 日

病院長 殿  
施設長 殿

千葉県認知症対策推進協議会  
認知症専門職研修構築事業受託団体  
一般社団法人千葉県作業療法士会  
会 長 池澤 直行  
(公印省略)

平成 26 年度認知症専門職研修上級コースの開催について (送付)

時下、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、千葉県作業療法士会の活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、平成 26 年度認知症専門職研修上級コースを開催する運びとなりました。

つきましては、貴院・貴施設所属の作業療法士・理学療法士・言語聴覚士の研修会へのご出席についてご配慮を賜りますようお願い致します。

尚、ご不明な点などございましたら、担当までお問い合わせください。

#### 記

- 1) 名 称 平成 26 年度認知症専門職研修上級コース
- 2) 場 所 千葉県立保健医療大学幕張キャンパス B 1 1 1 教室  
千葉県千葉市美浜区若葉 2-10-1  
※最寄駅；J R 幕張駅・J R 海浜幕張駅・京成幕張駅 徒歩約 15 分  
※駐車場には限りがございますので公共交通機関をご利用下さい。
- 3) 日 程 上級コース (指導者対象)；平成 26 年 11 月 15 日 (土)・16 日 (日)  
12 月 6 日 (土)・7 日 (日)  
※施設見学実習 平成 27 年 1 月 5 日～25 日のうち半日実施  
※施設見学実習報告会 平成 27 年 1 月 31 日 (土)
- 4) 対 象 ・平成 25 年度認知症専門職研修 (モデル研修) 初級・中級コースを修了した  
作業療法士、理学療法士、言語聴覚士  
※申込の際に修了証番号を記載して下さい。  
・認知症対応経験 5 年以上の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士  
※申込の際に職務経歴書 (別紙) を別途事務局へ郵送して下さい。  
・原則として千葉県作業療法士・理学療法士・言語聴覚士会会員とする。
- 5) 研修内容 「認知症専門職研修上級コースプログラム」参照 (士会 HP へ掲載)  
※修了者には認定証を発行致します。
- 6) 申込方法 メール申込のみとする ※詳細は申込方法参照
- 7) 申込期間 平成 26 年 10 月 1 日 (水) ～17 日 (金)
- 8) 定員 50 名 ※先着順 (応募多数の場合には、申込メールの受信日時で確定)
- 9) 参加費 県士会会員 10,000 円 非会員 15,000 円
- 10) 問合せ先及び申込先

実行委員長 橋谷 充助 (一般社団法人千葉県作業療法士会)

事務局；〒266-0031 千葉県千葉市おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2 F

TEL・FAX 050-3713-7864 (火・木・金のみ) e-mail:ninnchisyou2014@yahoo.co.jp

以上

## 申込方法について

- 募集定員 ; 50 名 (先着順) ※応募多数の場合は、申込メールの受信日時で確定
- 対象者 ; ①平成 25 年度認知症専門職研修 (モデル研修) 初級・中級コースを修了した作業療法士、理学療法士、言語聴覚士  
※申込の際に「修了証番号」を記載して下さい。  
②認知症対応経験 5 年以上の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士  
※申込の際に「職務経歴書 (別紙)」を事務局へ郵送又は F A X して下さい。  
③原則として千葉県作業療法士・理学療法士・言語聴覚士会会員とする。
- 申込記載内容 ;
- ・ 会員番号 ; 記載例) 1 1 1 1 1  
※各協会会員番号又は各県士会会員番号
  - ・ <sup>フリ</sup>氏 <sup>ガナ</sup>名 ; 記載例) 千葉太郎 (チバタロウ)  
※認定証を作成致します。誤字のないようにお願い致します。
  - ・ 職 種 ; 記載例) ○○療法士
  - ・ 臨床経験年数 ; 記載例) 13 年
  - ・ 勤務先 ; 記載例) ○○○○病院
  - ・ 連絡先 ; 記載例) ○○○—○○○○—○○○○ (代表)  
\* 初級・中級コース修了者の方は、「修了証番号」を記載して下さい。 ; ○○○○○  
\* 認知症対応経験での申し込みの方は、「職務経歴書 (別紙)」を事務局へ郵送して下さい。
- 申込先並びに問合せ先アドレス ;  
e-mail ; ninnchisyou2014@yahoo.co.jp
- 申込期間 ; 平成 26 年 10 月 1 日 (水) ~17 日 (金)
- 参加費 ; 県士会会員 10,000 円 非会員 15,000 円  
※申込みメール受信後に受付番号と振込口座をお知らせ致します。  
受付番号と氏名を記載のうえ指定口座へ事前振込みをお願いします。
- 備 考 ;
- ・ 研修会を修了された方には、認定証を発行致します。
  - ・ 次年度以降は、フォローアップ研修を実施致します。

認知症専門職研修実行委員会

一般社団法人千葉県作業療法士会

一般社団法人千葉県理学療法士会

一般社団法人千葉県言語聴覚士会

# 認知症専門職研修(上級コース:指導者対象)プログラム

認知症専門職研修実行委員会

日程:平成26年11月15日(土)

場所:千葉県立保健医療大学

目的 (1日目) 事例検討や施設見学並びにスバービジョンをとおして、実践的知識並びに対応力を修得し、地域リーダーあるいはリハビリテーションリーダーとしての知識並びに技術の向上を図り、認知症の人や家族への支援に対応できる。

講義	時間	分	科目	時間配分	内容	講師(敬称略)	習得目標
1	9:30~ 9:50	20	開講式	10	あいさつ	実行委員	
2	10:00~ 11:00	60	地域リーダー (コーディネーター) 概論	60	1 理念 2 地域リーダー(コーディネーター)の役割と実践	川崎 由紀	認知症の人が地域で暮らし続けることの重要性を知り人権と尊厳を守り支援するための基本理念を理解する。 千葉県における地域リーダーの役割について理解する。
3	11:10~ 12:10	60	地域住民への啓 発	60	1 啓発活動の立案並びに実施 2 地域ボランティア人材育成の推進 3 地域資源としての認知症サポーターの活用	緑川 由佳	講義・演習:各地域における課題を含めた情報提供の方法をシミュレーションする。 ボランティア人材育成の現状と課題並びに推進する意味を理解する。 認知症サポーターの意義並びに現状と課題を理解する。
4	12:15~13:00 13:00~ 14:30	90	休憩 家族機能の理 解	45 90	1 介護心理、介護家族の実情 リハビリテーションへ期待すること 2 家族機能の理解	広岡 成子	講義:介護家族の実情を理解する。また、リハビリテーションへ期待する内容について共有を図る。
5	14:30~	10		10	1 専門評価 (1日目研修についてアンケート実施)		

# 認知症専門職研修(上級コース:指導者対象)プログラム

認知症専門職研修実行委員会

日程:平成26年11月16日(日)  
場所:千葉県立保健医療大学

目的 事例検討や施設見学並びにスーパービジョンをとおして、実践的知識並びに対応力を修得し、地域リーダーあるいはリハビリテーションリーダーとしての知識並びに技術の向上を図り、  
(2日目) 認知症の人や家族への支援に対応できる。

講義	時間	分	科目	時間配分	内容	講師(敬称略)	習得目標
1	9:00~ 11:00	120	連携の技術	120	1 アセスメント情報の共有(評価・介護の統一理解)と連携	飯田 勤	アセスメントからの課題抽出並びに連携について理解する。 情報共有の実際と方法について理解する。 講義・演習:事例をとおして実際に使用する。 演習:事例をとおして支援計画を立ててシミュレーションする。
					2 情報共有の方法と個人情報情報の取扱い(情報管理)		
					3 認知症連携パス(千葉県オレンジ連携シート)の使い方指導		
					4 支援計画(事例を通して)		
2	11:10~ 12:10	60	多職種並びに 地域との連携 I	60	1 生活を支えるために必要な各職種の特徴、役割、業務内容、連携方法、課題	西 ケイ子	多職種の意義・役割・特徴を理解し連携などの実情と課題を理解する。 地域資源の整理と活用方法の実際について理解する。
					2 地域資源の活用と連携の実際		
休憩				45	昼食・休憩		
3	13:00~ 14:40		多職種並びに 地域との連携 II	100	3 地域特性に合わせたネットワークづくり	西 ケイ子	GW:ネットワークづくりの実際を検討しシミュレーションする。 GW:ネットワーク構築方法の実際を検討しシミュレーションする。
					4 対象エリアにおけるネットワーク構築方法の立案		
4	14:40~	10		10	事業評価 (2日目研修についてアンケート実施)		

# 認知症専門職研修(上級コース;指導者対象)プログラム

認知症専門職研修実行委員会

日程:平成26年12月6日(土)

場所:千葉県立保健医療大学

目的 (3日目) 事例検討や施設見学並びにスーパービジョンをとおして、実践的知識並びに対応力を修得し、地域リーダーあるいはリハビリテーションリーダーとしての知識並びに技術の向上を図り、認知症の人や家族への支援に対応できる。

講義	時間	分	科目	時間配分	内容	講師(敬称略)	習得目標	
1	9:00~10:00	120	終末期の支援(各論)	60	1 認知症の人の意思決定と支援方法(事例を通して)	神保 正宏	事例を通して意思決定の現用と課題を認識し支援方法について理解する。	
	10:10~11:10			60	2 リビングウィル(終末期医療への事前意思表明)必要性			意思決定能力が保たれている間に自分らしい最後についての意思表示しておくことの必要性を理解する。
				60	3 生命倫理、倫理的課題に関する多職種との調整			生命倫理などに関する現状と課題を知り多職種との調整法を理解する。
2	11:20~12:20	60	スーパービジョン	60	1 事例におけるマネージメントの実践 I	助川 未枝保	演習:事例をとおしてマネージメントをシミュレーションすることで指導者としての実践を経験する。	
12:25~13:10			休憩	45	昼食・休憩			
3	13:10~15:40	150	スーパービジョン	150	2 事例におけるマネージメントの実践 II	助川 未枝保	演習:事例をとおしてマネージメントをシミュレーションすることで指導者としての実践を経験する。	
				150	3 地域リーダー(コーディネーター)としての実践(スーパーバイズ)			演習:事例をとおして地域リーダー(コーディネーター)としての対応をシミュレーションする。
4	15:50~16:10	20	事例検討 オリエンテーション	20	1 事例検討の意義と進め方について	実行委員	講義:事例検討の重要性を認識し進め方について共有化を図り効率よく進めるための準備をする。	
5	16:10~	10		10	事業評価			
					(3日目研修についてアンケート実施)			

# 認知症専門職研修(上級コース;指導者対象)プログラム

認知症専門職研修実行委員会

日程;平成26年12月7日(日)

場所;千葉県立保健医療大学

目的 事例検討や施設見学並びにスーパービジョンをとおして、実践的知識並びに対応力を修得し、地域リーダーあるいはリハビリテーションリーダーとしての知識並びに技術の向上を図り、  
(4日目) 認知症の人や家族への支援に対応できる。

講義	時間	分	科目	時間配分	内容	講師(敬称略)	習得目標
1	9:00~ 10:40	100	事例検討 I	100	1 初期介入における事例検討	細井 尚人	GW・演習:各時期における事例をとおして実際の対応並びにリハビリテーションの立場からプログラム並びに支援方法を立案する。また、プレゼンテーションを実施することで現状の対応について理解する。
2	10:50~ 12:30	100	事例検討 II	100	2 退院・退所支援における事例検討	井上 創	
	12:35~13:20		休憩	45	昼食・休憩		
3	13:20~ 15:00	100	事例検討 III	100	3 在宅支援・終末期支援における事例検討	井上 創	GW・演習:各時期における事例をとおして実際の対応並びにリハビリテーションの立場からプログラム並びに支援方法を立案する。また、プレゼンテーションを実施することで現状の対応について理解する。
4	15:00~ 15:30	30	修了式	30	事業評価 (4日目研修についてアンケート実施) 修了証書交付式(上級コース;指導者対象) 施設見学オリエンテーション	実行委員	

# 認知症専門職研修(施設見学実習)プログラム

認知症専門職研修実行委員会

日程:①施設見学 平成27年1月実施予定 ②報告会 平成27年1月31日(土)

場所:①施設見学 認知症疾患医療センター ②報告会 千葉県立保健医療大学

目的 認知症疾患医療センターを中心に施設あるいは病院等を見学することによって役割並びに課題について理解し、本人の専蔽を含めた対応の困難さなどを含め地域における連携の一助(施設見学)とする。

講義	時間	分	科目	時間配分	内容	講師(敬称略)	習得目標
1	120		施設見学実習	120	1 認知症疾患医療センター	施設職員	見学・疾患医療センターの役割並びに課題を理解し連携の一助とする。 ※必須
1	60		施設見学報告会	60	1 報告会	実行委員	
2	30		閉講式	30	1 評価(施設見学アンケート) 認定証授与式(認知症リハビリテーションコーディネーター)		